

2024年度
(令和6年度)

学校関係者評価報告書

(自己評価を基本にした学校関係者評価)

2025年2月

学校法人日本ホテル学院
専門学校日本ホテルスクール

2024年度 学校関係者評価報告書

◆ はじめに

2014年（平成26年）4月から、専門学校のうち企業等と密接に連携して、最新の実務の知識・技能を身につけられる実践的な職業教育に取り組む学科を文部科学大臣が認定する「職業実践専門課程」がスタートし、2024年度で11年目を迎えました。

学校関係者評価の実施及び結果の公表は、職業実践専門課程の要件のひとつになっており、本校も2013年度（平成25年度）から、学校の教育活動その他の学校運営の状況について学校自らが評価を行う「自己評価」の実施及び公表、そして、自己評価の結果について評価することを基本として行う「学校関係者評価」の実施及び公表を進め、学校運営の改善、教育の質の向上に取り組んでいるところです。

学校法人日本ホテル学院が運営する専門学校日本ホテルスクールは、学校評価に関する関連法令に基づき、2024年度自己評価を基本にした「学校関係者評価」を実施し、報告書としてまとめました。

学校関係者評価は、学校自らが選任した教育関係者、業界関係者、卒業生等の学校関係者が、学校が実施した「自己評価」の結果について評価することを基本として行う評価で、評価結果はホームページ等において公表致します。

本校と致しましては、学校関係者評価の結果を踏まえ、今後も教職員と学校関係者が連携・協力し、学校経営、学校運営の更なる改善と教育の質の向上に努めて参りたいと考えております。

1、学校関係者評価について

(1) 定 義

学校関係者評価は、生徒・卒業生、関係業界、関係団体、教育業界、保護者・地域住民などを学校自らが選任し、構成された評価者と学校教職員で構成された委員会等が、自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。

(2) 目 的

自己評価結果の客観性、透明性を高めるとともに、本校と密接に関係する学校関係者の理解促進や連携体制による学校運営の更なる改善を図ることを目的とする。

(3) 評価の主なポイント

- ①自己評価結果の内容は適切か。
- ②自己評価結果を踏まえた今後の改善方策は適切か。
- ③学校の重点目標や評価項目等は適切か。

(4) 評価対象期間

2023年度（2023年4月1日～2024年3月31日）

(5) 評価実施年度

2024年度

(6) 評価結果の公表

- ①評価結果や委員からの意見等を取りまとめてホームページに公表。
- ②評価結果は次年度の学校運営や教育活動等について具体的に改善を図る。

2、学校関係者評価委員会について

(1) 主な活動内容

- ①自己評価の実施状況と結果についての確認
- ②学校関係者評価委員の評定、意見、評価等、集計結果の確認
- ③評価する点、改善する点、全体的助言
- ④教育環境施設等の視察、確認

(2) 学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員 5人

(順不同、敬称略、2025年2月1日現在)

氏名	団体等の名称	役職	任期(3年)
渡辺 淳	全国語学ビジネス観光教育協会	事務局長	2024.11.1～ 2027.10.31
浅山 恵一	一般財団法人日本ホテル教育センター	事業部長	2022.9.1～ 2025.8.31
乙部 彩佳	専門学校日本ホテルスクール 同窓会	副会長	2023.12.1～ 2026.11.30
相澤 克己	専門学校日本ホテルスクール 同窓会	監事	2023.12.1～ 2026.11.30
花澤 彩	専門学校日本ホテルスクール 同窓会	監事	2023.12.1～ 2026.11.30

3、基準、評価項目等

(1) 「自己評価報告書1」に基づく学校関係者評価

自己評価報告書1は、特定非営利活動法人 職業教育評価機構の様式に準拠。

- 基準1 教育理念・目的・育成人材像
- 基準2 学校運営
- 基準3 教育活動
- 基準4 学修成果
- 基準5 学生支援
- 基準6 教育環境
- 基準7 学生の募集と受入れ
- 基準8 財務
- 基準9 法令等の遵守
- 基準10 社会貢献・地域貢献

(2) 「自己評価報告書2」に基づく学校関係者評価

自己評価報告書2は、本校独自の自己評価項目(以下①及び②)を設定し評価を実施。

- ①ホテル専門学校として教育の質保証、特徴化に向けた取組みの評価項目
 - ・教育目標、教育活動、授業運営
 - ・教育課程編成、特色ある教育
 - ・学修成果

②職業実践専門課程（文部科学大臣認定）要件の実施・取組み状況、成果等の評価項目

- ・専攻分野に関する企業等と連携した教育課程の編成
- ・企業等と連携して実習・演習等の実施
- ・総授業時数
- ・企業等と連携し教職員に対し専攻分野に関する研修の実施
- ・企業等と連携し学校関係者評価の実施と公表
- ・学校運営の状況に関する情報の公開・提供

4、自己評価に対する学校関係者評価委員の評価（平均点）

（1）評価点（平均点）

自己評価の評価項目に照らして、学校関係者評価委員が点数化し、その平均値（平均点）を記載した。

4点：適切（実施）

3点：ほぼ適切（概ね実施、ほぼ実施）

2点：やや不適切（少し実施、ある程度実施）

1点：不適切（殆ど実施していない、未実施）

（2）委員の意見、評価等

学校関係者評価委員の意見、評価等を各基準毎（評価項目毎）に記載した。

改善を要する点、取組み方法の工夫や変更等の意見については、内外の状況を見定めて対応する。

6、評価項目に対する評価の平均値、意見等

評価項目に対する評価平均値及び委員の意見、評価等は次ページ以降をご覧ください。

1、「自己評価報告書1」に基づく学校関係者評価

【基準1】教育理念、目的、人材育成像

評価項目	評価の平均値
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	4.0
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4.0
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4.0
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	3.2

【意見・評価等】

- ・業界等のニーズに応えるべく教育理念、目的が定められており、適切な人材育成がなされている状況が見受けられ、評価できる。
- ・（1-1-4）多様性が求められる社会に変化していく中で LGBTQ や障がい者などの社会的マイノリティの当事者を講師として招き、講師自身の体験談や生き方などの話を通じてマイノリティへの配慮などを知ることも検討されたいかがでしょうか。
- ・特色ある実践教育、業界が必要とする専門知識と技能を有する人材育成に努めている。

【基準2】学校運営

評価項目	評価の平均値
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4.0
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	4.0
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	4.0
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	4.0
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	4.0
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	4.0
2-7-1 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	3.4

【意見・評価等】

- ・学校運営は、目標達成に向けて実行されており、評価できる。
- ・学校運営を円滑にすすめるための体制が確立されている。

【基準3】教育活動

評価項目	評価の平均値
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	4.0
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4.0
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4.0
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	3.5
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	3.8
3-9-4 授業評価を実施しているか	4.0
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4.0
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	4.0
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	4.0
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	4.0
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	3.2
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	3.8
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	3.2

【意見・評価等】

- ・教職員の研修を再開・実施し成果を出すことを期待したい。
- ・ホテルでの職場経験のある教職員を増やしたほうが良いのではないのでしょうか。
- ・教育活動を行う上で様々な事柄に細やかに対応している状況が把握できる。
- ・(3-12-1) ホテル現場経験のある方を増やした方が良いのではないのでしょうか。
- ・(3-12-2) 自己啓発学習支援制度が本来の目的を果たしているのか疑問である。
- ・(3-12-3) 組織力を高めるためにはチームビルディング研修等を取り入れてみたらどうか。

【基準4】学修成果

評価項目	評価の平均値
4-13-1 就職率の向上が図られているか	4.0
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	3.0
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	3.4

【意見・評価等】

- ・卒業生向けのイベント実施等がホームページで紹介されており、卒業後のサポートもできていると評価する。

- ・卒業生の社会的評価は、同窓会（同窓大学）等を通じて把握してほしい。
- ・（4-14-1）学校全体として取得率（認定率）の向上をさらに高めるべきである。
- ・在学生在現場で活躍している卒業生を知る機会が増えると本人が卒業したとき、母校への意識が高まり、学校のブランド力も上がり、好循環が生まれやすくなれば良いと感じる。

【基準5】 学生支援

評価項目	評価の平均値
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4.0
5-17-1 退学率の低減が図られているか	3.2
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	3.8
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	3.2
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4.0
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	4.0
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	4.0
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	4.0
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	4.0
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	4.0
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	3.0
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	3.2

【意見・評価等】

- ・ホームページを活用し、学校の情報提供していることに評価できる。
- ・学生支援に対して充実した取り組みが行われていると評価する。
- ・（5-18-1）（5-18-2）経験豊富な教職員の退職により、一抹の不安を感じる。担任に相談できない（相談しにくい）場合の逃避先として専門の担当者の配置を望む。
- ・卒業生が社会に出て改めて学びなおしたいことを学べる場があったらと思う。そこでの卒業生同士のつながりも発生し、母校とのつながりも強化できる。また、学校カリキュラムへの反映もできるのではと感じる。

【基準6】 教育環境

評価項目	評価の平均値
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・用具等を整備しているか	4.0
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4.0

6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3.0
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	4.0

【意見・評価等】

- ・防災意識の向上に期待したい。
- ・教職員学生を含めた防災訓練（初期消火、避難誘導等々）は年1回行ったほうが良い。
日航機事故に伴うスムーズな避難は訓練の賜物である。多くの学生を親御様から預かる立場にあるため。
- ・実務演習教室の新設など教育環境が整備されている状況が見受けられ、評価できる。

【基準7】学生の募集と受入

評価項目	評価の平均値
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	4.0
7-25-2 学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	4.0
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4.0
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	3.4
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4.0
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	4.0

【意見・評価等】

- ・教育環境、教育設備の向上と充実は評価できる。
- ・AO入学選考を採用するなど、新たな取組みも見られ、学生の募集と受入れについては適切に行われていると評価する

【基準8】財務

評価項目	評価の平均値
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4.0
8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	3.8
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	3.4
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4.0
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4.0
8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	4.0

【意見・評価等】

- ・財務情報をホームページに公開し、適切な運営対応をされている状況が把握でき評価できる。
- ・財務情報も公開されており、社会的な信頼が得られていると評価する。

【基準9】 法令等の遵守

評価項目	評価の平均値
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4.0
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4.0
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4.0
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	4.0
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	4.0
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	4.0
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4.0

【意見・評価等】

- ・自己評価・学校関係者評価もホームページに公表されており、法令等を遵守した適正な学校運営がなされている証として評価できる。
- ・将来的に第三者評価の実施の意向を持っている点は評価できる。

【基準10】 社会貢献、地域貢献、国際交流

評価項目	評価の平均値
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.2
10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	3.0
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	3.0

【意見・評価等】

- ・ボランティア活動への意識向上を期待したい。
- ・実習先等にてボランティア活動ができる環境があると望ましいように思う。
- ・国際交流の機会は、18、19歳の学生にとってたくさん欲しいと思う。例えば大使館でのパーティーのサービスなど「特別な体験」がその後のキャリアデザインにつながるのではと感じる。

2、「自己評価報告書2」に基づく学校関係者評価

(1) ホテル専門学校として教育の質保証、特徴化に向けた取組みの評価項目

①教育目標 教育活動 授業運営

No.	評価項目	評価の平均値
1-1	学科・学年に応じた教育目標を明確に設定し、学生等に周知しているか。	4.0
1-2	全科目のシラバス（年間授業計画）を新年度開始前迄に作成・整備し、学生に説明し授業運営を行っているか。ホームページに公開しているか。	3.8
1-3	専任、兼任を問わず、教職員に対し教育目標や方針、授業運営計画について周知・報告する機会を設けているか。	3.2
1-4	基本的知識及び技能を確実に習得し、在学中において段階的に必要な実践力、思考力の育成に取り組んでいるか。	4.0
1-5	建学の精神、教育理念等を踏まえ、一貫性のある三つのポリシーを策定し、広く社会に公表しているか。	4.0

②教育課程編成、特色ある教育

2-1	教育課程の検証、見直しを定期的に行い、バランスの良い調和の取れたカリキュラム編成を行っているか。	4.0
2-2	専攻分野に関連する専門科目の講義及び演習の授業科目数、授業時数、単位数はバランスよく適切であるか。	4.0
2-3	授業での学びを企業等での実習で活かし、在学中において均衡のとれた教育課程の実現や連動した学びを行っているか。	4.0
2-4	接客方法や技術及び円滑な対人関係に必要とされるコミュニケーション能力の育成がカリキュラムに構成されているか。	4.0

③学修成果

3-1	就職指導體制を整備、確立し、学生の職業観を高め、特に関連業界への就職について向上が図られているか。	4.0
3-2	資格取得に向け指導體制を整備し、計画的指導を行い、目標とする合格率の目標達成に取り組んでいるか。	3.2
3-3	退学率について、原因や分析、低減を図るための組織的な対応、対策をとり、低減対策を図り取り組んでいるか。	3.2
3-4	学生に対し学校生活や授業に関するアンケート調査を実施し、意見や結果を指導や改善に反映しているか。結果はホームページ等で公表しているか。	4.0

●全体意見等

- ・より現実にそぐう形でのシラバス作成を望む。

- ・ホテル専門学校独自の評価項目があり、教育の質の高さがうかがえ評価できる。
- ・資格取得に向けた指導の向上に期待したい。

(2) 職業実践専門課程（文部科学大臣認定）要件の実施・取組み状況、成果等の評価項目

①専攻分野に関する企業等と連携した教育課程の編成

No.	評価項目	評価の平均値
4-1	企業等との連携体制を確保し、教職員と企業等の委員による委員会を設置しているか。	4.0
4-2	企業等と連携し開催する委員会等は年2回以上開催し委員構成や議題等、適切に運営しているか。	4.0
4-3	委員の意見、提案等を教育課程の編成に反映されているか。また、業界の現状、将来性、求める人材等について意見交換や情報共有は十分か。	3.8

②企業等と連携して実習・演習等の実施

5-1	企業との間で実習・演習の覚書や協定書を締結し、内容に準じ適切に行っているか。	4.0
5-2	学内における実習・演習の授業は知識や技術を向上させ、段階的指導を行っているか。	4.0
5-3	実習中の仕事内容や時間を管理し、成績、評価、単位等の学修成果を企業と連携し行っているか。修得した知識、技能等の能力評価を行っているか。	4.0

③総授業時数

6-1	全課程の修了に必要な総授業時数は1700単位時間以上であるか。	4.0
-----	---------------------------------	-----

④企業等と連携し教職員に対し専攻分野に関する研修の実施

7-1	教職員に対し、ホテルやブライダル分野における実務に関する知識、技術、技能を修得・向上するための研修を計画的に行っているか。	3.0
7-2	教職員に対し、授業及び生徒に対する指導力等を修得・向上するための研修を計画的に行っているか。	3.0

⑤企業等と連携し学校関係者評価の実施と公表

8-1	教職員と企業等の委員により組織された学校関係者評価委員会を設置しているか。企業等の委員の構成、人数は適切であるか。	4.0
8-2	学校関係者評価を踏まえ、課題の改善に取り組み、教育活動その他の学校運営の改善に取り組んでいるか。	3.2
8-3	学校関係者評価の評価結果をホームページ等において広く社会に公表しているか。	4.0

⑥学校運営の状況に関する情報の公開・提供

9-1	情報公開のガイドラインに掲げられた項目について情報を提供しているか。	4.0
9-2	ホームページ、入学案内書、パンフレット等の作成・配布、説明会等における説明等を通じて、恒常的に情報提供を行っているか。	4.0

●全体意見等

- ・教職員に対する研修・自己啓発の促進に期待したい。
- ・企業との連携・協力により、充実した教育がなされていることが評価できる。
- ・ホテルビジネス B1 レベルの認定取得後 5 年経過した教職員は司式の振り返りを兼ねて再度受験を目指してはいかがだろうか。
- ・卒業生が就職して、実際に感じた“学校では教えてもらわなかったが、教えてもらえたらさらに現場の即戦力になったと思ったことなど”をヒアリングするようなアフターフォローがあると良い。

以上

2024年度（令和6年度）学校関係者評価報告書

学校法人日本ホテル学院 専門学校日本ホテルスクール

〒164-0003 東京都中野区東中野3-15-14

TEL 03-3360-8231（代表）FAX 03-3360-8584

<https://www.jhs.ac.jp>